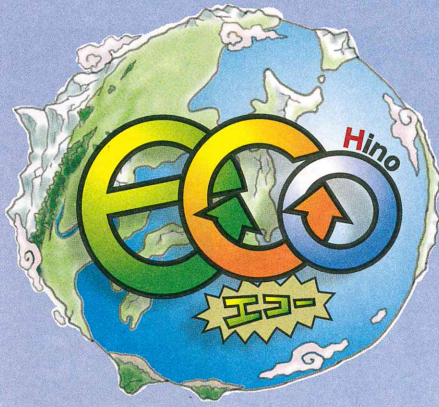




ごみゼロ社会 をめざそう

Vol.
18
平成18年3月

発行 日野市環境共生部
ごみゼロ推進課
☎581-0444

<http://www.city.hino.lg.jp/>

可燃ごみの半分が「生ごみ」です

生ごみ減量と有効利用を考える講演会を開きました

3月4日、七生公会堂で“生ごみ堆肥で元気野菜～子ども達に伝えよう!「いのちの循環」～”と題した講演会を開催しました。この講演会は、各自治会から選出された廃棄物減量等推進員の研修会を兼ねたものです。可燃ごみの半分を占める生ごみの減量に向けて、様々な視点からそのヒントを発信しました。



市内各地域で生ごみ堆肥化をしている市民の方からの事例発表がありました。会場アンケートでは「簡単なので自分も生ごみ堆肥化を始めてみたい」という声もたくさん寄せられました。



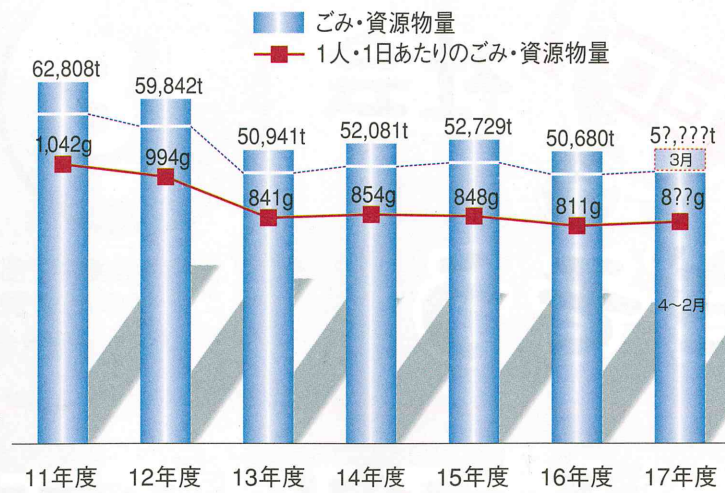
ごぼうスープの試食をしました。ミネラル分を含んだ皮付きごぼうのスープと、皮をむいたごぼうスープの2種類を用意。皮付き野菜のうまみを実感していました。

今号の主な内容

- 17年度はごみ量が昨年度より増加? 減量に取り組んでください…………… 2面
- 次号「ごみ情報誌エコ」に広告を掲載しませんか…………… 2面
- ごみ・資源物の出し方のお願い…………… 3面
- 減らそう! 1人1日あと100g ～めざせ! 多摩地区ベスト1…………… 4～5面
- レジ袋削減のためにレジ袋有料化を目指します…………… 6～7面
- 「ごみシンポジウム」を成功させた東京薬科大学の学生が登場…………… 8面

惜しい！ 可燃ともにごみ量増加傾向

ごみ改革以降、じりじりと増加していたごみ量が、平成16年度は皆さんの努力によって対前年度比で初めて減少させることができました。しかし、今年度は2月末の累計で、人口は0.8%の増加に対して、家庭から排出された可燃・不燃ごみが約1.5%増加しています。



生ごみをひと絞りにしてから出すなど、簡単なことでもごみを減らすことができます。1人1日100gのごみ減量にご協力ください。

収集しません

商店や事業所からの「家庭用」袋

1回の排出量が90リットル相当分までの少量排出事業所は、事業系ごみ用指定収集袋で市の収集に出せます。しかし、家庭用の指定収集袋で出している商店や事業所が後を絶ちません。もし、今までお間違いでしたら、正しい排出をお願いします。

有害(危険)ごみ出し方変更

おかげさまで順調な成果

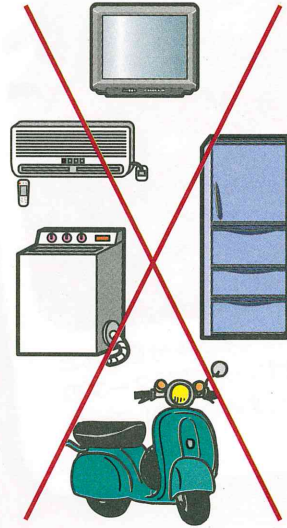
昨年11月から、ビデオテープやカセットテープ等のテープ類とスプレー缶類を、不燃ごみの日に市指定ごみ袋以外の中身の見える袋に入れて出すように変更のお願いをしていました。変更後3か月経過しましたが、

皆さんのご協力により成果があがっています。引き続き、ルール通りの排出をお願いします。



オーナーさん、管理会社さんへ入居者に周知して頂きたいこと

引越しのシーズンです。退去者が市で収集しない家電4品目やパソコン、オートバイなどを放置してしまっているところがあります。放置されたごみは、管理者側で処分してください。市で取り扱う品目でもルールが守られていない場合は収集しません。また、新たに入居される方にも、「契約条項」等に記載するなど、ごみ出しのルールをご指導ください。



ごみ・資源物を出す時刻は？ 全て、収集日の朝8時までに！

ごみ・資源物はそれぞれ収集業者が別で、収集に伺う時刻も別々です。出し遅れた違う品目を収集することはできませんので、当日の収集品目全てを朝8時までにお出しください。

次号のこの情報誌に「広告」を載せませんか？

①縦4.5cm×横9.0cm (この枠の大きさ)
②縦4.5cm×横18.5cm
掲載料 ①…3万円 ②…6万円
詳細は、ごみゼロ推進課にお問い合わせを

取扱店の変更

指定ごみ袋 粗大ごみシール

平成18年版「ごみ・資源分別カレンダー」に掲載された取扱店に変更があります(2月28日現在)。

▽指定袋・粗大ごみシール取扱開始

ファミリーマート日野旭が丘店(旭が丘3の1の25)／セブンイレブン日野税務署前店(万願寺4の24の2)／サークルKサンクス高倉店(八王子市高倉町49)

▽取扱終了したお店

ローソン日野駅前店／セブンイレブン聖蹟桜ヶ丘店／小場石ストアー鮮魚あづま／木島ドラッグ／サークルKサンクス日野台店／ローソン日野本町店／ローソン多摩ノ宮店

電動アシスト自転車

バッテリーを外してください

クリーンセンターでは、電動アシスト自転車のバッテリーを自転車本体から取り外して処分していますが、鍵が付いていない為、作業が困難な状況です。電動アシスト自転車をごみとして処分するときには、バッテリー

ーを外して出すか、バッテリーを外す為の鍵を付けて出すようにご協力をお願いします。

古布の中に割れた「びん」

収集作業員が負傷

古着・古布を収集した作業員が、中に隠れていた割れたびんによってけがを負う事故がありました。

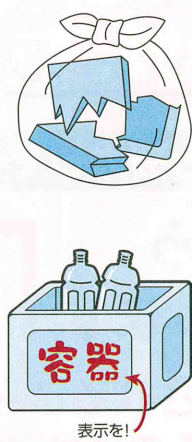
割れたガラスや刃物などを出すときは、紙や布などに包んで、不燃ごみとして出してください。また、不燃袋にその旨表示してくださいと助かります。



「トロ箱」を資源物入れにする場合は「容器」と表示を

「トロ箱」とは、発泡スチロール製の箱のことです。これを資源物を出すための容器として使用している場合は、「容器」と表示してください。表示があるものは回収せず、その場に残しておきます。発泡スチロール

を資源物として出す場合は、不用になったポリ袋に入れて口を結んで出すようにお願いしています。しかし、大きなものを出す際、袋に入らないためそのままの形で出している場合が見受けられ、資源物容器としての場に残すべきか、回収すべきか判断に迷うことがあります。



剪定枝の拠点収集

決められた日時に持ち込みを

「剪定枝拠点収集」は、ご家庭の庭木などを剪定した時に出る枝を、決められた日時・場所にお持ちいただき、無料で引き取っているものです。65歳以上のみの世帯、3級以上の障害をお持ちの方のみの世帯で、収集拠点に行くのが困難な場合は、日野市企業公社(☎587・6321)へご連絡ください。また、一部の会場では指定日時以外に持ち込むケースが見受けられますので、必ずルールを守るようにお願いします。

『日野市マイバッグ運動の記録』発行

この運動は、100人以上にのぼる市民ボランティアが参加した全国的にも類を見ない大規模なものです。この運動の開始から店頭キャンペーン終了までの記録を冊子にまとめました。ご希望の方はごみゼロ推進課へご連絡ください。

日野市役所ホームページのアドレスが変更

新アドレス <http://www.city.hino.lg.jp/>

ごみ・資源物の出し方は…

トップページ
ホーム

くらし

ごみ・資源物の
出し方

ごみゼロ推進課のページ…

トップページ
ホーム

各課のご紹介

環境共生部

ごみゼロ
推進課

めざせ! 多摩地区ベスト1

減らそう! 1人1日あと100グラム

10gからでも始めましょう

1人1日あたり
総ごみ量ランキング販売店に返すと
総ごみ量が減ります

新聞は1日分(朝・夕刊あわせて)で約280gあります。販売店の回収に出せば、効果が大きいですね。

市のごみ減量施策は、平成11年に市民参画で策定した「日野市環境基本計画」を基に展開されています。「ごみ改革」も、この基本計画に盛り込まれた内容が実現されたものです。昨春秋、市では環境基本計画の見直し作業を行いました。その中で、5年後の平成22年度に、市民一人一日あたりの総ごみ(可燃・不燃ごみと資源物)量が多摩地域で一番少ない自治体になろうという目標を掲げました。ごみ減量には、市民と事業者双方の努力が不可欠です。今後も、目標実現に向けて情報をお伝えしますが、まずは、市民の皆さんに今日からできる実践方法をご紹介します。より一層のご協力をお願いします。

1人1日100gの減量をすると、1年に36.5kgの減量になります



商店や事業所も努力してください!

事業所で行う
ごみ減量は、まず「紙ごみ」

事業所から排出されるごみの中で、かなりの割合をしめているのは紙ごみです。まずは、紙ごみの減量に取り組みましょう。

- 両面コピーや文書の共有、データ化などで、書類を減らす。
- ミスコピー紙などはメモ用紙に使用するなどコピー用紙の使用量を抑える。
- 封筒、ファイルなどは繰り返し使用する。
- ごみ箱を共有化するなどして簡単にごみを出さないよう工夫する。
- コピー機やプリンターのトナーカートリッジなど詰め替え可能なものは、メーカー回収などで再使用する。

市民のページ

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

知恵袋

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。



Part 10

目指せ！ごみゼロ

有料化が国の方針に

国もレジ袋有料化の方針を打ち出しました。地域において、行政・事業者・市民が協力してこれを進める必要があります。

海外では、韓国、台湾、バングラディシュ、ドイツ、イタリア、スイス、デンマーク、フィンランド、南アフリカが有料化を、アイルランドが課税を、アイルランドが有料化+課税をすでに実施しています。

有料化の推進

日野市では、国や他の自治体に先駆けて、レジ袋有料化への取り組みを始めました。事業者や市民の協力のもとに、日野市の施策としてこれを推進します。

有料化を実施すると…

- レジ袋を断る人は7割～9割に
これは、すでに有料化を実施しているコープとうきょうや都内のスーパーなどの事例です。
- 有料化は一見サービスの低下に見えますが、むしろレジ袋にかかる費用が省かれ、値下げや真のサービスの向上が可能になります。
- レジ袋の費用を現在のように価格に上乗せして全員に負担させるのではなく、レジ袋をもらった人にだけ負担させるのだから公平になります。
- マイバッグを持参すれば、もちろんお金を払わなくて済みます。

レジ袋は使い捨ての象徴

全国で1年間に使用されるレジ袋の量は、Lサイズ(9・9g)換算で約305億枚。1世帯当たりでは年間約600枚にのぼり、大半はそのままごみとして捨てられています。

このため、レジ袋は使い捨ての象徴といわれ、レジ袋の削減はごみ減量推進のシンボルとなっています。

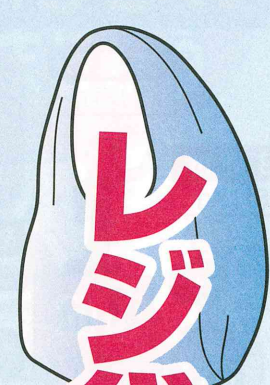
レジ袋の弊害

- ごみの増加・焼却による二酸化炭素の排出・石油資源の浪費をもたらしています。
- 不法投棄されたごみのほとんどにレジ袋が使われています。
- クジラ、イルカ、ウミガメなどの野生生物が海に漂うレジ袋を誤食して死んでいます。

レジ袋削減はなぜ必要なの？

続 マイバック運動特集

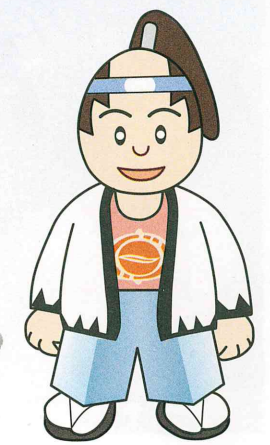
次は



レジ袋

削減

のために、



レジ袋

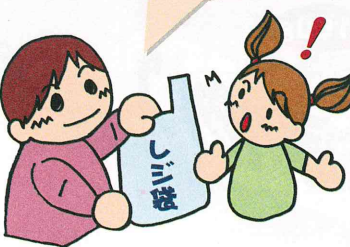
有料化

を目指します!!

なぜ有料化なの？

マイバッグを持参することは、習慣になれば特に面倒なことではありませんが、レジ袋が無料である限り、マイバッグを持参しようという気持ちはなかなか起きません。マイバッグを持参する「きっかけ」としては有料化しか考えられないのです。

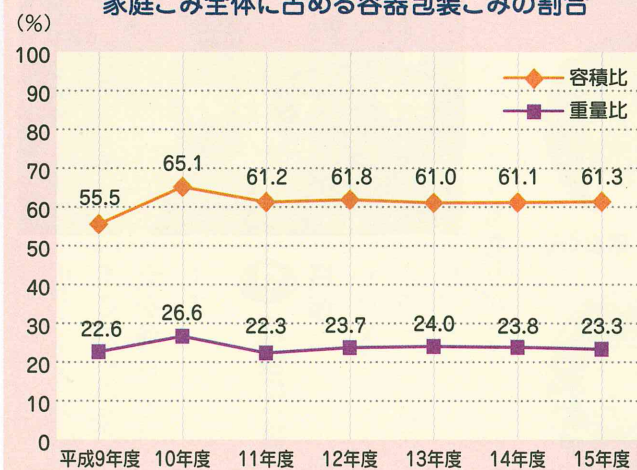
本当はタダではないのですよ!



レジ袋の費用は価格に上乗せされ、レジ袋をもらった人ももらなかった人も毎回負担させられています。レジ袋は決してサービスではありません。

【レジ袋削減は、進まない容器包装ごみの減量を促進する突破口ともなり得ます】

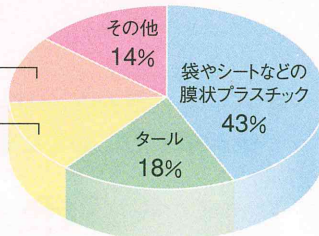
家庭ごみ全体に占める容器包装ごみの割合



資料:環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査」
※平成9年4月、容器包装リサイクル法施行

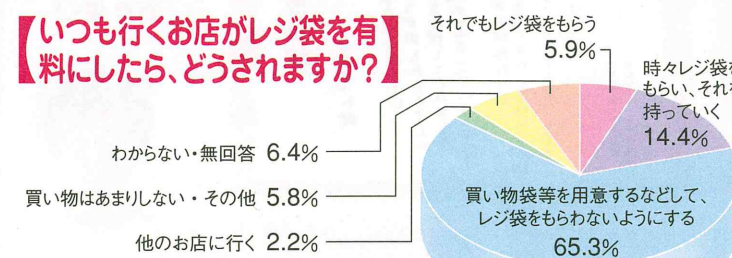
【ウミガメ類に摂食された廃棄物の種類】

固形状プラスチックや発泡スチロール 12%
ロープや釣り糸 13%



資料:佐尾和子・丹後玲子・根本稔 編
「プラスチックの海」
海洋工学研究所出版部(平成7年)

【いつも行くお店がレジ袋を有料にしたら、どうされますか?】



資料:市民アンケート調査(平成13年実施)

「小・中・高・大学生のごみシンポジウム」を成功させた 東京薬科大学 里山復元サークル 「ASIATO」

このシンポジウムは、昨年に開催されたもの。日ごろ環境学習に熱心な夢が丘小の4年生と三沢中の2年生がその成果を発表。これを話題に大学生が小学生にもわかりやすくコーディネーとして、シンポジウムを有意義なものにしました。この企画・運営にあたった大学のサークルの代表にインタビューしました。

？ 日ごろ皆さんは どのような活動をしているのですか？

貝塚 僕たちの普段の活動は大学近辺の田畑で農作業を行っています。この企画は、中央公民館の方の呼び掛けに応えたメンバーによって活動が始まりました。

？ 企画・運営で苦労した点は？

貝塚 「ごみ問題」を調べていくうちに、政策・科学技術など、様々な分野が絡んでいることがわかってきました。シンポジウムの主旨をどうするか。メンバーは悩みましたが、最終的にシンポジウムに参加してくださるような一般の市民の方々が、日々の生活の中でできることに焦点を当てた「毎日みんなのごみゼロ社会」というテーマになったのです。シンポジ

ウムの企画や運営は大変でしたが、いい経験をさせて頂きました。

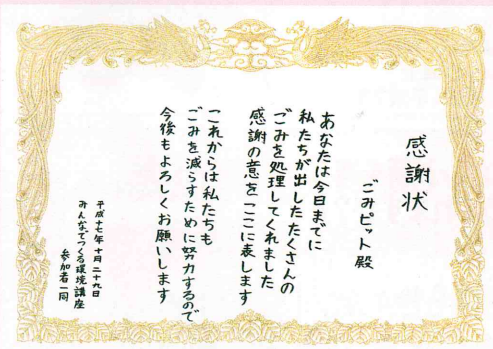
？ 参加者や読者に気付いて欲しいこと、 ご自身が学んだことなどがありますか？

貝塚 これを機会に、参加してくれた小・中学生の皆さんには、今までにも増して、積極的にごみ問題に取り組んで欲しい。また大学生の皆さんには、特に一人暮らしの人たちにこういった問題に関心を持って欲しいと思います。僕も一人暮らしを



▲ 環境学習の成果を発表した小・中学生は、大学生や社会人とともにポイ捨て等の問題を話し合いました

▼ 参加者一同から、クリーンセンターの焼却炉施設にあてた感謝状を頂きました



中心になったメンバー



青柳 俊くん



貝塚 剛志くん



竹内 孔明くん



前川 健くん

価大学の人たち、どうもありがとうございました！



していますが、このシンポジウムから、以前よりもごみの減量や分別に気を使うようになりました。

？ 最後に言わせて。

貝塚 この企画のきっかけをつくって頂いた市の方々、当日スタッフとして手伝ってくれた創